心を近づけるお話

おうちでいっしょに読もう

いつまでも…ピクセル

おうちでこの絵本を読むための短いガイドです。保護者のみなさまへ、心をこめてつくりました。



この絵本は、だれもがいつか経験することについて、子どもたちと話すきっかけをくれます。それは**大切な存在とのお別れ**です。ピクセルは主人公の男の子の猫。そのお話が、やさしく、そして大切な会話をひらいてくれます。家族でいっしょに味わってください。

この絵本で生まれる気持ち

かなしみ
感じていいもの。急がなくて大丈夫。

愛
大好きな気持ちは心に残る。

とまどい
死について疑問がわくことも。

なつかしさ
恋しく思うのも、思い出すこと。

ほっとする
かなしみが和らぐと知ると安心できる。

読む前に。 静かで、急がなくていい時間を見つけましょう。ベッドでも、ソファでも、くつろげる場所ならどこでも大丈夫。「準備」はいりません。いっしょにいるだけで十分です。

読んだあとに話しあう質問

4〜6歳

小さな読者に

- 猫の名前は何だった？
- 男の子はどんな気持ちだった？
- だれかをとても好きになったことはある？
- この絵本のどこが好きだった？

6〜9歳

大きな読者に

- 「ずっと」ってどういう意味？
- 男の子はかなしみをどう表した？
- だれかを思い出す助けになるものは？
- 大切なものをなくしたことはある？

家族で

いっしょに話そう

- 家ではかなしみとどう向きあっている？
- ペットの思い出はある？
- 家族で死についてどう話している？
- この絵本から何を学んだ？

おうちでいっしょにできること

1 ピクセルを描こう

- 家族ひとりずつ、ピクセルを想像して描きます。
- 絵を見くらべよう。にているところは？ ちがうところは？
- どうしてそう描いたのか、話しあいましょう。

15分　紙と色えんぴつ

2 思い出の箱

- 家にある箱か封筒を用意しましょう。
- 大切な人を思い出すもの（写真、絵、メモなど）をひとりずつ入れます。
- 家族で特別な場所にしまっておきましょう。

20分　特別な材料なし

3 ピクセルへの手紙

- お子さんに、ピクセルへの手紙を口で言ってもらうか、書いてもらいましょう。
- 絵本を読んでどう感じたか、伝えたいことを自由に。
- いっしょに声に出して読みましょう。

10分　紙とえんぴつ

4 大好きなものの壁画

- 大きな紙に、大好きな人、ペット、場所をみんなで描きます。
- それぞれに名前をつけて、どうして好きか話しましょう。
- 家の見える場所にはりましょう。

25分　大きな紙と色えんぴつ

気持ちのミニ辞典 – おうちで話すために –

悲嘆
大切なものや人をうしなったときの気持ち。自然なことで、感じ方は人それぞれです。

きずな
人と人、人と動物のあいだに、愛情と思いやりがあるときに生まれる特別なつながり。

なつかしさ
愛情をこめて恋しく思うこと。かなしみほどつらくなく、思い出をだきしめるような気持ち。

ずっと
この絵本では、その人や動物がいなくなっても、愛と思い出は消えないという意味です。

– いっしょに読んでくれてありがとう –

いちばん大切な本は、いっしょに読む本です。

この絵本が家族の会話のきっかけになったら、ぜひ教えてください。みなさんのお話をお待ちしています。

→ @editorialvinculo
→ editorialvinculo.cl